



かかし



始良市立山田小学校 学校だより

所在地:始良市下名 1018

電話:0995-65-2506



学校HP

令和6年7月号

大切にしたい未来からの「留学生と借り物」

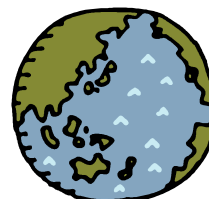
校長 山崎 誠

梅雨明けが待ち遠しい時期になりました。雨の降り続く日は心も憂鬱になるものですが、子どもたちのプールでの歓声や水しぶきを上げる姿は、心が和む時間です。文月の7月に入り、いよいよ学校は1学期のまとめの時期に入りました。新年度が始まり4ヶ月あまり、子どもたちは、この期間どのような学びを掴んだでしょうか。心も身体の成長はもちろんのこと、わかったことやできたことが増えたことなど、それぞれが健やかに成長した姿に微笑ましく思うことです。

さて、「子どもたちは未来からの留学生」とも言われています。未来を生き抜くために、「自分はどう思い、考え、行動するのか」という自分軸を大切にした思考や学びが大切であることは言うまでもありません。

先日、子どもたちは、道端に取り残されていたすずめの雛の行く末を心配し手を尽くしたり、教室の水槽で飼っている生き物の生死について深く考える様子に触れたりしながら、命あるものを大切にしたいという願いを行動に移していました。自ら、命あるものの「未来をよりよくしたい」という強いメッセージを示してくれたことに、大人として大切なことに気づかせてもらっています。

ところで、近年の大雨や長雨、海水温度の上昇など、大規模な災害が起こる異常な気象や地球の環境変化について、深く考え憂慮する機会が増えてきました。「地球は、未来世代からの借り物」という言葉もあります。借りたものは、当然大切に使い、時期が来たらきれいに返さなければなりません。未来を生きる子どもたちに住みよい地球を守ってあげられるのか、今を生きる私たちに課せられている宿題なのかもしれません。



いよいよ、42日間の夏休みに入ります。夏期休業中は、学校からの課題はもちろんですが、この時期にしかできないことに挑戦してほしいと願っています。自分軸を大切にした学びは、将来の自分自身の糧になり生きる自信につながっていきます。他の人に頼るのではなく、「自分で考え、自分で判断し、自分のことは自分で決められるように育つこと」が「自立」への道ではないかと考えます。69人の子どもたちの自信に満ちあふれた、成長した9月を楽しみにしてます。



あゆ ほうりゅうたいけんがくしゅう 鮎の放流体験学習

6月11日(火)、1・2年生が生活科の学習で、鮎の放流体験学習を行いました。稚鮎をバケツに入れ、子どもたちは、「大きくなあれ」と、声をかけながら泳いでいく鮎を見守っていました。総重量50kgの稚鮎を山田川に放流しました。
☆令和6年6月18日(火)の南日本新聞に掲載されました。



だいいっかがっこうひょうぎんかい 第1回学校評議員会



6月13日(木)の2・3校時に第1回学校評議員会がありました。今年度の学校経営について協議し、授業の様子も参観していただきました。今年度の役員の方は、以下のとおりです。
眞正英志さん、田中茂子さん、堂前了さん、池田満穂さん、1年間よろしくお願いいたします。



ちく えいようきょうゆけんしゅうかい 地区栄養教諭研修会

6月27日(木)、地区栄養教諭研修会が山田小学校でありました。6年家庭科の授業参観では、「朝食から健康な1日の生活を」をテーマに、給食に視点を当て、給食室と6年教室をライブ映像で繋ぎました。すると、調理員が食材を切り、調理している姿が映し出されました。その姿を見て、6年生は、給食室の工夫や努力に気づきました。今まで知らなかった調理の裏側を知ること、調理技術だけでなく、衛生面や安全面、食べる人のことを考えることができました。

参観された栄養教諭の方々は、山田小の学習者主体の学びを絶賛されていました。



【8月の行事予定】

・1日(木) 出校日 ・21日(水) 出校日 ・25日(日) PTA 美化作業

山田小ブログ

